

I. 研修について

当科では疾患別に消化管疾患専門医(2名)、肝疾患専門医(4名)、胆膵疾患専門医(2名)およびレジデント医師(4名)が協力して、臨床を行うと共に、研修医の教育を行う集団指導体制を取っている。

研修は、基本的に午前中に上部内視鏡検査、腹部エコーなどの検査、午後からは下部内視鏡検査、ESD、肝生検や食道静脈瘤硬化療法、ERCPなどの検査・治療に従事する。また、病棟担当医としては、5-10名の患者を受け持ち、消化器疾患、検査、治療を過不足なく経験できるよう配慮している。

毎週木曜日と金曜日には各分野のカンファレンスを行い、担当患者の詳細な検討を行うと共に、疾患の考え方、検査データや画像検査の読み方、さらにはガイドラインの見方・考え方など、全ての臨床医にとって必要な知識を身につけるよう指導している。

II. 研修の到達目標

全ての臨床医師にとって必須の消化器疾患の基本的な理解、正確な診断、適切な検査の指示と治療の実際を修得する。

一般目標としては、基本的な消化器疾患の知識と、消化器疾患について全身管理とともに専門的見方が出来るようになること。

特殊な検査・治療としては、消化器内科医として必須の超音波検査を一人で施行できるようになり、肝生検やPTCD等のエコーガイド下の処置では、助手としての対応が出来るようになること。また、内視鏡検査では、内視鏡検査・治療の適応・禁忌、各種デバイス操作の習得、電子内視鏡スコープの取扱いが出来るようになることととも、上部内視鏡検査では観察中のスコープの出し入れが出来、ポリペクミー、ESD、食道静脈瘤硬化療法、ERCP等の処置では助手としての対応が出来るようになること。

III. 医師数[うち臨床研修指導医数] (平成29年3月現在)

・常勤医師 14名 [9名]

IV. 学会認定医・専門医・指導医 (平成29年3月現在)

日本内科学会認定医(11名)・内指導医(7名)・総合内科専門医(6名)

日本消化器病学会専門医(9名)・内指導医(4名)

日本消化器内視鏡学会専門医(9名)・内指導医(6名)

日本消化管学会胃腸科認定医(3名)・専門医(3名)・指導医(3名)

日本肝臓学会専門医(4名)・指導医(2名)

日本胆道学会指導医(1名)

日本超音波学会専門医(1名)

日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2名)

日本医師会認定産業医(2名)

日本プライマリ・ケア連合学会認定医(1名)・指導医(1名)

V. 施設認定

日本内科学会認定医制度教育病院

日本肝臓学会認定施設

日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設

日本消化器病学会認定医制度認定施設

日本胆道学会認定施設

